# あなたの本棚





# 大津市立図書館

発行No.291

月	火	水	木	金	土	日
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

■塗りつぶしの日は休館です。

### 令和6年



#### 『すうがくさんぽ』前田まゆみ/あすなろ書房/410.4 マエ

■数学は計算の技術を暗記することではなく、さまざまなものの見方の経験です。理解できないから目を ■ そむけるのではなく、数学の世界で何が語られているかを、絵本作家が素直に自由に、感じとったままに 一級ります。年を取ると、なぜ一年が早く過ぎる気がするのでしょう。一緒に『すうがくさんぽ』をしなが ■ ら、答えを見つけてみませんか。



#### 『Excel 仕事のはじめ方』

古川順平/技術評論社/007.6 フル パソコン

仕事を効率化する Excel のワザを最短時間で身につけよう! Excel のしくみや基本操作から、重要機能である「関数」「グラフ」「データベース」、便利なショートカット、作業の自動化機能まで、超スピードで解説する。

#### 『「読み」の整理学』

外山滋比古/筑摩書房/019.1 トヤ 文庫

読み方には、すでに知っていることを読む「アルファ読み」と、未経験のことを読む「ベータ読み」の2種類がある。本当に読むとはいかなることか。<読み方>の極意を伝授。読書や本にまつわる文章を増補した新版。

#### 『哲学の世界』

森田邦久/講談社/104 モリ

人生に意味はあるのか? 死は悪いことなのか? 時間は流れているのか? 「あたりまえ」がひっくり返る哲学体験を通じて、哲学のおもしろさを伝え、世界・人生のみかたに変革を与える。大阪大学の講義を基に書籍化。

#### 『「死」を考える』

養老孟司/集英社インターナショナル/114.2 ヨウ

死を恐れる感情はどこから来るのか。養老孟司、内澤旬子、小林武彦など、全28名の医学・哲学・倫理・葬儀・墓・遺品整理・芸術・生物学・霊柩車・死刑制度などの専門家が、死への「正しい接し方」を語る。

#### 『勇気論』

内田樹/光文社/158 ウチ

いまの日本人に一番足りないものは何だろうか。ジョブズ、フロイト、孔子、河竹黙阿弥、大瀧詠一など、話頭は転々として奇を極め…。"モヤモヤを抱えた編集者との往復書簡"をもとに、内田樹が「勇気」の意味を考察する。

#### 『パリ華の都の物語』

池上英洋/筑摩書房/235.3 イケ

芸術の殿堂ルーヴル美術館、豪華絢爛なオペラ座、パサージュとカフェ、歴史に名を刻む者たちの墓地…。貴重なビジュアル資料を含む豊富なカラー図版とともに、パリの歴史と芸術のすべてを美術史家が読み解く。美術館案内付き。

#### 『シニアになって、ひとり旅』

下川裕治/朝日新聞出版/291 シモ 文庫

消えゆくデパート大食堂、子どもの頃どこへ行くにも乗っていたキハ車両、カニ族と重なる苫小牧発仙台行フェリーの若者たち…。70歳間近という年齢だからこそ味わえる国内ひとり旅を、これまでの軌跡を振り返りながら綴る。

#### 『新おとめ六法』

上谷さくら/KADOKAWA/320 が

「恋愛」「SNS・インターネット」「子ども」「くらし」「しごと」「結婚」の6つの章に分け、トラブルに巻き込まれたときに行動の指針になる、法律の知識を紹介する。2023年刑法改正に対応。

#### 『経済用語図鑑』

花岡幸子/WAVE 出版/330 ハナ

インセンティブ、GDP、コロナショック…。 新聞やビジネス書によく出てくる、経済に関する必須の用語や思考、理論などを豊富なイラストとともに丁寧に解説。基本的な用語からちょっと高度な理論まで、241 の単語を収録。

#### 『自然災害と地域づくり』

本田明治/朝倉書店/369.3 ホン

万が一の災害は突然に、誰にでも起こる。自然科学および社会科学の最新の研究をベースにし、「災害や環境変化に強い地域社会」の構築に向けた知見・知識を提供する、災害に強い社会をつくるための入門書。

#### 『新しい免疫入門』

審良静男/講談社/491.8 アキ

細菌やウイルスなど、病原体の攻撃からからだを守るしくみである免疫。免疫が働く基本的なしくみを、最新の知見をふまえ、免疫反応の流れがわかるよう、やさしくかみくだいて解説する。新たな知見を加えた第2版。

#### 『スマホアイ』

松岡俊行/アスコム/496.4 マツ

スマホを使いすぎると運動能力や学習能力、コミュニケーション能力の低下を招く。新現代病「スマホアイ」の驚くような怖い事実を解説し、子どものスマホアイを予防する方法や、改善するための「目にいい習慣」を紹介する。

#### 『最強に面白い飛行機』

浅井圭介[監修]/ニュートンプレス/538 アサ

史上最大のジェット旅客機の最大重量は 560 トン。そんなに重い飛行機が、なぜ空を飛ぶことができるのか? ライト兄弟の挑戦から、ジェット旅客機、最新鋭戦闘機まで、飛行機のテクノロジーをイラストとともに解説する。

#### 『レシピの役には立ちません』

阿川佐和子/新潮社/596 アカ

珍しく父に褒められるからと、台所仕事をするようになって 60 年余。アガワが立ち向かう新たな食材、怪しい食材…。料理に向かう勇猛心が湧いてくるエッセイ。『波』連載を書籍化。

#### 『京都、美しい苔庭さんぽ』

烏賀陽百合/講談社/629.2 ウカ

目に涼しく、四季おりおりの植栽や石灯籠と 美しく調和する苔。京都の美しい緑の絨毯、 苔景を、社寺、旅館、料理店の庭などからセレクトして見どころ、苔の不思議な魅力など を写真で紹介する。

#### 『推しの公園を育てる!』

みんなの公園愛護会/学芸出版社/629.3 シン

万人に開かれた地域の庭である公園で、仲間と一緒に、ゆるく楽しく、地域密着。公園ボランティアをテーマに「推しの公園」を持つ楽しみや、公園を育てていく喜びについて、事例を参考にしながら紐解く。

#### 『すごいローカルチェーン 100』

BUBBLE-B/イカロス出版/673.8 ハフ

地元では誰もが知る超有名チェーンでも、初めて行く人にとっては新発見の宝庫!? 飲食店から、スーパー、コンビニまで、全国の魅力的でユニークなローカルチェーンを紹介する。

#### 『ひらがなの世界』

石川九楊/岩波書店/728.2 イシ

新生のひらがな=女手は、漢字=万葉仮名からどのように生まれてきたのだろうか。文字としての女手=ひらがなへの道を探りつつ、実際に女手書記の作品を通して、その美意識を探り、「つながる文字」の本質に迫る。

#### 『登山と身体の科学』

山本正嘉/講談社/786.1 ヤマ

何を食べればよいのか、水はどれくらい飲めばよいのか、どこの筋肉を鍛えればよいのか。 栄養補給、疲れない歩き方、効率的なトレーニングといった合理的な登山術を、運動生理 学からわかりやすく解説する。

#### 『トークの教室』

藤井青銅/河出書房新社/809.2 フシ

フリートーク、エピソードトーク、摑みに切り口、語り口…。放送作家としてラジオの仕事を多く手がけ、芸人やタレントなどいろいろなパーソナリティーのトークの壁打ち役を務めてきた著者が、面白いトークのやり方を伝える。

#### 『数のつく日本語辞典』

森睦彦/東京堂出版/813 モリ

「一期一会」「二階から目薬」「三日坊主」「四面楚歌」「五里霧中」「十中八九」など、数のつくことば、四字熟語、ことわざ、慣用句、仏教語、歴史用語など 1670 語を収録。付録として西国三十三所などの情報も掲載。

#### 『こころの散歩』

五木寛之/新潮社/914.6 イツ 文庫

目には見えない「心の相続」をすることの重さ、生きるためのエネルギー「ノスタルジーの力」、そして、「後ろ向きに前へ進むこと」の大切さ。90歳をこえた作家が、自らの豊富な経験をもとに、人生を楽しむヒントを綴る。

#### 『カフネ』

阿部暁子/講談社/F アヘ

法務局に勤める野宮薫子は、溺愛していた弟が急死して悲嘆に暮れていた。弟の元恋人・小野寺せつなに会い、彼女が勤める家事代行サービス会社「カフネ」の活動を手伝うことに…。『小説現代』掲載を加筆改稿。

## 『われは熊楠』

岩井圭也/文藝春秋/F 17

少年・南方熊楠の希みは学問で身を立て、この世の全てを知りつくすこと。父の反対をおしきって海を渡るが、研究はなかなか進まない…。かつてない熊楠像で綴る、エモーショナルな歴史小説。『別冊文藝春秋』連載を単行本化。第171回直木賞候補作。



図書館のホームページで蔵書検索や本の予約ができます。

また、登録された方にはメールで新着本をお知らせする「新着案内メール」を配信しています。

※メールアドレスを変更された場合はご自身でホームページより変更手続きをお願いします。



スマホ用ホームページ

